



# 渺々万里 第158号

## 「人生を舵取りする力」を生徒に!

北海道静内高等学校長 大木 康弘

この4月、本校に着任しました。教員として勤務してから18年目、そして、教頭として勤務して以来5年ぶりに静内高校に関われることを大変光栄に思っています。

平成19年度に特別進学クラスの設置、平成21年度からの普通科単位制の導入など、この静内高校は常に次の時代を見据え、新しい取組に挑戦してきた学校であります。

また、創立80年を超える伝統校でありながら、校訓はありません。創立70周年を機に校訓にかわる学校スローガン「静内でかなえる! 地域に愛され、地域になくってはならない学校」の下、学校と保護者、地域が一緒になって生徒を支えてきた学校でもあります。

さて、これからの社会はBANI(バニ)の時代と言われています。B(Brittle 脆い) A(Anxious 不安) N(Non-Linear 非連続) I(Incomprehensible 不可解) 正解がなく、見通せない時代になると考えられます。そのような時代には、自分なりに目標や課題意識を持ち、自分なりに選択・判断し、他者の力を借りながら、自分なりに実現や解決に向けて行動する「自分の人生を舵取る力」が必要になってきます。

本年度、本校では、生徒自らの学びは自分でデザインする「静高タイム」という新しい取組をスタートさせました。そして生徒がデザインする学びに対して、地域コーディネーターを配置し、学校運営協議会与学校コンソーシアムという組織をつくり、地域の大人たち(教員を含め)が伴走・サポートする体制で進めていく予定です。

この日高地域において魅力があり、存在感のある高校を目指して全力で取り組んでいきますので、地域・保護者等のみなさまのより一層のご理解とご支援を賜りたいと存じます。

## 令和8年度入学式

教頭 山下 武人

「静内でかなえる、地域になくってはならない学校」のスローガンを胸に刻み、何事にも熱意を持って創意工夫を凝らし、自分自身を高め、静高プライドをもって本校を巣立ってほしい——。校長の式辞のもと、全4クラス144名の初々しい新入生を迎えた入学式が、4月8日、晴れやかに挙行されました。

新ひだか町長 大野克之様、PTA 会長 新川智典様からの祝辞、そして吹奏楽部による心温まる演奏が式に花を添えました。新入生を代表して福田貴叶さんが、「静内でかなえる」を実現するため、静高生としての本分を全うする力強い宣誓を行いました。静高に来て良かったと思えるよう、失敗を恐れず自ら考え行動し、日々の勉強や部活動、友人関係において悔いの残らない高校生活を送ってほしいものです。友人や先生方、家族、地域の方々の「力」を借りながら、一步一步着実に歩みを進めてください。ともに「静高プライド」を、より誇り高いものにしていきましょう。

## 今を一步一步

教務部長 高橋 敬一

大峯千日回峰行、想像を絶する修行である。…夜中の0:30に出発、峻険な山(奈良県金峰山)を往復約48kmを歩き帰ってくる。帰着がだいたい15:30頃、就寝は19:00…睡眠時間約4時間の繰り返しを9年間1000日間の命がけの修行。1300年間で二人しか達成していない。その修行二人目の満行者に塩沼亮潤さんがいる。塩沼さんは歩き続ける修行の中で、「人生に無駄なことは一つもない。ただ目の前の一步を精一杯に刻むだけである」という境地に辿り着いたそうです。皆さんのこれからの歩みも、同じかもしれません。時には冷たい雨に打たれ、険しい上り坂に足が止まりそうな時もあるでしょう。しかし、そんな時こそ思い出してほしいのです。どんなに高い頂も、今日という1日の、わずかな数十センチの一步を積み重ねた先にしかありません。大切なのは、背負っている荷物の重さを嘆くことではなく、今、自分が生かされていることに「感謝」し、周りの人々への「思いやり」を届け、そして自分の心に「素直」であることです。この3つの心を杖にして歩めば、どんな困難も、皆さんを輝かせるための大切な糧へと変わります。

静内高校という学び舎で、仲間と共に汗を流し、笑い合い、時には悩みながら進む時間は一生の宝物です。焦る必要はありません。自分らしく、一步一步を丁寧に、そして深く味わいながら進んでください。その先に、光り輝く希望の景色が広がっています。皆さんの挑戦を、私をはじめ先生方は心から応援しています。頑張ってください。



## 高校生になって

1年4組 福田 貴叶

高校へ入学してから時間が経ち、不慣れで思うようにいかないこともあります。少しずつ高校生活に慣れて始めてきたように思います。先日の新入生歓迎会やオリエンテーションで教えていただいた「静内でかなえる」というスローガンのもと、静内高校の一員であるという自覚を持ち、日々努力をし続けていきます。また、高校では中学校とは違い、1つ1つの行動に大きな責任が生まれるため、1人の人間として成長できるように気を抜かず頑張っていきたいです。あっという間の3年間だとは思いますが、1日も無駄にせず、毎日全力で過ごしていきます。



## 静高シラバス・ガイダンスブック

情報ガイダンス部長 加納 広

静内高校では、「静内でかなえる！」という標語のもと、多様な進路希望に対応するべく、単位制を導入しています。単位制は科目選択の幅が広いことが特徴で、それを活かすために、学校内外問わず様々なことに挑戦し、その経験を大切にすることが必須となります。経験を積み重ねることで自分に関する理解を深め、これからの道を考え、必要な科目を選んでいきます。しかし、自分ひとりで考えることはとても難しいので、本校ではガイダンスを充実させています。「ガイダンスブック」では、科目選択に関する説明はもちろん、進路のことや、学校生活のさまざまな決まりや仕組みなどが書かれています。今年度から冊子化・キャリアパスポートもノベルティとして付き、より実践的な形として使用できるようになりました。相談や進路のことを考えるときには準備しておきましょう。また、「しずこうシラバス」は、これからの学校生活に対して見通しをもって過ごせるように作られた予定表で、教室に掲示しています。いつ何を、どんな力を身につければ良いかが記載されています。なんとなく行き当たりばったりの高校生活ではなく、計画性とチャレンジ精神を持って、たくさんの学びを手に入れてください。



## 新入生歓迎会

生徒会部長 横堀 晃

4月9日(木)に今年度最初の生徒会行事である「新入生歓迎会」が開催されました。

吹奏楽部の演奏で体育館に入場する1年次生144名は、最初は緊張した面持ちでしたが、先輩からの温かい拍手を受け少しずつ緊張が和らぎ笑顔が見られました。

歓迎会は、書道部・吹奏楽部合同の歓迎パフォーマンスにはじまり、校長先生の激励、生徒会長結城玲音さんからクイズでアイスブレイクをしたのち、静内高校の主な学校行事や、年間 MVP に該当する「会長杯」などの説明がありました。

続いて部局活動紹介の動画が流れました。練習に真剣に取り組む様子や少しユーモアを交えた芝居風の勧誘紹介、各部の活動の成果など、どの部局も工夫を凝らした内容でした。最後に1年次生を代表して1年1組の有留輝良くんからお礼の言葉がありました。

全体を通して、1年次生を温かく迎えてつも、学校のルールを理解し、充実した高校生活を送ってほしいという先輩からのメッセージが伝わる内容でした。1年次生には、早く静内高校の一員として「静高プライド」を胸に活躍してくれることを期待しています。

## <高体連・高文連・高野連支部大会の日程>

種目	期日	会場
野球(春季大会)	5/9~16	とましんスタジアム
陸上競技	5/20~22	日鋼室蘭スポーツパーク
バスケットボール	5/21~23	苫小牧市総合体育館 他
バレーボール	5/15~17	苫小牧市総合体育館 苫小牧市内高校体育館 他
卓球	5/27~29	④栗林商会アリーナ
ソフトテニス	5/19~21	室蘭市IRIE大同電設テニスコート
バドミントン	5/26~28	苫小牧市総合体育館
ハンドボール	5/21~22	④栗林商会アリーナ
サッカー	5/19~22	リーフラスフットボールパーク まなびの里サッカー場
剣道	5/19~20	白老町総合体育館
放送	5/16	苫小牧市文化交流センター
将棋(全道大会)	5/28~29	旭川市大雪クリスタルホール

## <着任者の紹介>

職名	氏名	教科
校長	大木 康弘	
教頭	山下 武人	
教諭	日向 大介	国語
教諭	武田 侑也	体育
教諭	團 広太	体育
教諭	伊藤 宇飛	理科
教諭	小玉 智	国語
教諭	山木 康太	美術・音楽
教諭	熊田 茂樹	英語
養護教諭	中島 佑菜	
専門主任主事	川崎 基	
事務職員	原田 沙奈子	

## 5月・6月の主な行事予定

5月8日(金)	高体連地区大会壮行会
17日(日)	PTA 混合バレーボール大会
27日(水)	いじめアンケート
6月3~5日	前期中間考査
8日(月)	ネット安全利用講演会
25日(木)	成績説明会

※学校日より「渺々万里」は静内高校ホームページからもご覧いただけます。

<http://www.shizunai.hokkaido-c.ed.jp>



静内高校